

平成28年度 交通局予算要求方針

【目次】

- 1 平成28年度交通局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・ 4

1 平成28年度交通局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成28年度交通局予算要求総括表

【交通事業会計】

平成28年度要求総額 2,283,910千円

(平成27年度予算額 2,144,760千円)

前年度比 139,150千円 6.5%増

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 A	平成27年度 予算額 B	増 減 A-B
バス運行事業	2,283,910	2,144,760	139,150
（うち お客様満足 向上事業	10,001	0	10,001
安全・安心で 快適なバス運 行事業	36,192	76,950	△40,758
施設リフレッ シュ事業	41,519	0	41,519

（２）平成 28 年度交通局経営方針

交通局では、平成 23 年度から平成 27 年度の 5 ヶ年にわたり「北九州市営バス事業経営計画」の方針に基づき、様々な取り組みを実施してきました。これまでの取り組みの評価と今後のあり方について検討するため、「市営バス事業あり方検討会議」が設置され、平成 27 年 8 月に、市営バス事業の今後の方針が報告書として示されました。

交通局においては、この報告書の方針に沿って、平成 27 年度中に「第 2 次北九州市営バス事業経営計画」を策定します。

平成 28 年度は、新しい経営計画スタートの年となります。経営計画に基づく取り組みを着実に実行し、今後とも健全経営を維持し、公営バス事業者としての使命を果たしていきます。

① 安全・安心な運行の確保

（方針）

- ◆ 交通事業者の最優先の使命である安全な運行を確保した上で、快適かつ安心して利用できるサービスを提供します。

② 地域社会への貢献

（方針）

- ◆ 公営バス事業者として、不採算路線の維持に努め、住民の足を守るとともに、子どもや高齢者、障害者など交通弱者の支援など、地域社会に貢献します。

③ 収入の確保

（方針）

- ◆ 乗合バス事業では、地域と密着した利用促進や利便性の向上などに取り組み、収入の確保を図ります。
附帯事業では、貸切バスの稼働率を高めるため運転者の確保に努めるとともに、営業を強化し、収入の確保を図ります。

④ 路線の再編

(方針)

- ◆ 宅地開発等の状況に応じ、路線の新設や増便等を行うとともに、複雑で非効率となっている既存路線を、地域住民の要望を踏まえ経済性も考慮しながら、利用しやすく、わかりやすい路線に再編していくことを検討します。

⑤ 人材の確保

(方針)

- ◆ 運転者不足に対応するため、継続的に確保する取り組みを強化するとともに、将来の運行管理部門を担う人材の確保、育成を行います。

⑥ 業務の改善

(方針)

- ◆ 絶え間なく業務改善への取り組みを進め、更なるコスト削減を図ります。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) お客様満足向上事業 10,001 千円

① バス利用促進の取り組み 7,568 千円

V-2・新規 ◆ イラストマップ（地図上に行先を表示など）のようなわかりやすい路線図等により運行の見える化を行います。

加えて、自治会等地域へ出向いての説明会開催を始め、免許返納者への割引制度の導入やキャラクターラッピングバスの運行等により利用促進を図ります。

② 互換性のある IC カード導入 2,433 千円

V-2・新規 ◆ 利用者の利便性の向上や利用促進を図るため、他の事業者のシステムと互換性のある新たな IC カードシステムの平成 30 年度導入に向けて、外部有識者等による検討会を立ち上げるとともに、利用者へのアンケート等調査・検討を行います。

(2) 安全・安心で快適なバス運行事業 36,192 千円

① バス車両の更新 28,650 千円

V-2・継続 ◆ 老朽化したバス車両 1 台を更新します。更新車両については、高齢者や障害者でも乗降しやすいノンステップバスとします。

② ドライブレコーダーの導入 6,678 千円

V-2・拡充 ◆ 平成 28 年度中に全車への導入を図り、安全・安心な運行を確保するとともに、乗務員の安全意識向上や省エネ運転による経費削減を図ります。

③ バス前照灯ヘッドランプの LED 化 864 千円

V-2・継続 ◆ 平成 29 年度までに順次 LED 化し、視認性向上による安全な運行の確保を図ります。

(3) 地域社会への貢献事業

① 子育て支援制度の導入

V-2・新規◆ 子どもと子育て家庭を地域社会全体でさらに支えていくため、幼児全員の運賃無料化や妊婦運賃の軽減など、新たな子育て支援制度の導入を検討します。

② 認知症サポーター養成

V-2・新規◆ 平成28年度中に、運転者全員に認知症サポーター養成講座を受講させます。正しい知識を習得させ、高齢者の安全・安心なバス利用や高齢者の見守りで地域に貢献します。

(4) 施設リフレッシュ事業

41,519 千円

① 営業所・整備棟の改修等

V-2・新規◆ 女性が働きやすい職場環境の整備（女性運転者トイレ）や老朽化の著しい設備（洗車機等）の更新等を行います。

(5) 人材の確保

① バス運転者の継続的な確保

V-2・拡充◆ 引き続き2ヶ月毎の採用試験や効果的な広報等により、継続確保を図るとともに、女性運転者が働きやすい勤務体制や職場環境の改善を検討します。

② 運行管理部門の人材育成

V-2・継続◆ 将来の運行管理部門を担う人材の育成を行うため、計画的に正規職員を採用します。